

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アイビーキッズ船橋市役所前			
○保護者評価実施期間	2026年 8月 4日 ～ 2026年 9月 1日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31人	(回答者数)	26人
○従業者評価実施期間	2026年 8月 11日 ～ 2026年 9月 4日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 10月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの個性に寄り添った丁寧なアセスメントと質の高い直接支援	子ども一人ひとりの好き・嫌いや発達段階を丁寧に把握し、意欲を引き出す工夫や信頼関係の構築を大切に支援を行っています。	支援内容や子どもへの関わり方について、全職員が参加するケース会議や研修を定期的 to 実施し、情報共有と質の均一化を図ってまいります。チーム全体で子ども一人ひとりに丁寧に向き合い、質の高い支援を提供できるよう体制を強化してまいります。
2	安全面・個別性に配慮した環境設定とパーテーションの活用	年齢や発達段階の異なるお子様が同時間帯に活動する際も、パーテーション等で空間を分けし、安全かつ集中的に取り組める環境を整えています。	室内レイアウトの見直しや時間帯に応じた空間の区切りなど、動線と安全面に配慮した工夫を継続・強化いたします。限られたスペースの中でも子どもが伸び伸びと安全に活動できるよう、環境調整とプログラムの最適化に努めてまいります。
3	適切な職員配置基準の遵守とチームによる支援体制	職員配置基準を確実に遵守し、スタッフ間で連携・助言し合いながら、偏りのない安全で安定したサービス提供に努めています。	職員の配置および配置基準の遵守状況につきまして、改めて適切に管理されていることを確認いたしました。今後も職員体制の管理を徹底し、子ども一人ひとりに合わせた安全で丁寧な支援が継続できるよう、業務の効率化と体制の充実に努めてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場や家族支援・きょうだい支援の充実	日常の連絡や療育の充実に主軸を置いており、保護者会やご家族・きょうだい児も参加できるイベント等の設定が不十分であったため。	保護者様同士の情報交換の場や、ご家族・きょうだい児の皆様にご参加いただけるイベント等の機会提供に向け、事業所として具体的な企画・実施を検討してまいります。
2	地域交流の機会や地域に開かれた事業所づくりの推進	事業所内での療育提供が中心となっており、近隣施設や地域住民との交流・情報発信の取り組みが発展途上であるため。	近隣施設や関係機関との連携可能性を模索し、安全面やプライバシーに配慮しつつ、インクルージョンの観点に基づいた地域交流や情報発信の機会づくりに取り組んでまいります。
3	待合・面談時のプライバシー配慮および衛生・安全管理の徹底	待合スペースでのフィードバック時に会話の距離感への配慮が必要な点や、設備の老朽化・安全管理面での継続的点検が必要なため。	ご家族のプライバシー配慮を徹底するため、面談時における音漏れ防止策や相談環境の工夫を迅速に導入いたします。また、施設環境・設備の点検や日々のヒヤリハット共有を徹底し、事故防止と安全管理の徹底に努めてまいります。